

糖尿病新聞

第6号
2023年2月
発行人：糖尿病
指導検討委員会

糖尿病で知っておくべき検査結果の見方

今回より、糖尿病の方へ向けての採血結果の見方について、一緒に学んでいきましょう。

糖尿病の治療に関わる検査項目は多岐にわたります。

血糖コントロールに関わる数値



・血糖(グルコース・BS)

血液中のブドウ糖の濃度を表しています。空腹時や食後2時間値、隨時血糖など採血したタイミングにより、参考とする

時間が異なります。

・HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)



過去1-2か月の血糖値を反映した数値。目標値は個々に設定するのが最近の考え方ですので、主治医に確認してみてください。

糖尿病の合併症の1つである腎症の数値も血液検査で確認することができます。

腎機能に関わる数値

・クレアチニン(Cre)

腎機能や筋肉量の指標で、男性は筋肉量が多いため、数値が高めに設定されています。

じんきのう かかわるすうち 腎機能に関する数値

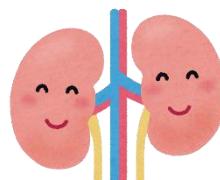


・尿素窒素(BUN)

たんぱく質の代謝産物です。特に食事で摂取した、たんぱく質量の指標になります。腎機能が低下すると老廃物の排出ができなくなるため、高値になります。

・尿酸(UA)

細胞を作る際の成分である、プリン体が分解してできた老廃物で、腎臓から排出されます。腎機能が低下すると、排泄が滞り、高値になることがあります。



・eGFR(イージーエフアール)

推定腎機能を表します。血清クレアチニン、年齢、性別で推算し、自分の腎機能が今どの段階にあるのかを確認することができます。



すうちもくひょう とく けつとう かかわるすうちもくひょう ここ
数値目標、特に血糖に関わる数値目標は個々に

せってい おおく
設定されることが多いです。

しゅじい そだん もくひょう せってい
主治医と相談して目標を設定し、

わたしたち いっしょ たっせい
私たちと一緒に達成できるようにしていきましょう！

糖尿病の管理を十分に行わないまま放置すると、腎機能が低下してきます。(糖尿病性腎症)

糖尿病透析予防指導では糖尿病のある方の腎機能の低下を早期に発見し、

腎機能の低下と透析導入を予防するために、専任医師、看護師、管理栄養士などによる

糖尿病透析予防診療チームが治療のサポートをします。

内科医の診察日と同日に、看護師による日常生活の指導、

管理栄養士による食事療法についての指導を行っています。